

(地方調達等) (海上自衛隊)

開催日及び場所	平成 20 年 12 月 3 日(水) 福岡合同庁舎 2 号館 5 階 第 1 会議室	
委員	牧角 龍憲(大学教授)      松藤 泰典(大学教授) 植田 正男(弁護士)      高場 俊光(大学教授) 村田 靖孝(公認会計士)	
審議対象機関	平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日	
審議対象件数	9, 292 件	
1. 入札状況について (入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	3 件	(審議概要)
地方調達等	一般競争      1 件 ----- 指名競争      0 件 ----- 随意契約      2 件	地方調達等 (艦船修理契約及び艦船物品売買) 1. 地方調達等発注実績について 2. 抽出事案について
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問  ○それに対する回答等	【地方調達等発注実績について】  特になし  【抽出事案について】  ○随意契約方式  [「ちょうかい」定期検査 船体・機関及び電気ほか]  公募した時に応募しなかった場合どうするのか。  公募により公告する必要があるのか。また、リスクが大きすぎないか。	未応募となり、再度、公募を実施する。  公表できない情報等については、オープンにする範囲を線引きをすることにより、リスクを担保している。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>警備区主義設定理由及び随意契約となった理由については海上自衛隊全般について言えることから、他の局及び他の海上自衛隊地区での説明に、今回の説明を標準として合わせることで整えていただきたい。特に警備区主義は重要であり、説明理由は概念的なところでもあるので説明に差が出やすく、きちんと整えていただけるよう要望したい。</p> <p>〔「ちょうかい」定期検査（専門業者工事）ほか〕</p> <p>特になし</p> <p>○一般競争入札方式</p> <p>〔ボイラ管 ほか〕</p> <p>I H I 製品以外の製品を使用する前提で、一般競争入札を拡大したい場合、他の会社に現物を見せて同じ物品ができるか。公示の意味も込め見学会などで見せた上で、応札者がいるか確かめられないか。</p>	<p>ボイラーは複雑な機構をしており、外観からは見学会を実施しても、パイプの1本1本の寸法を測ることは困難である。また、1つの区画に所狭しに機械が入っており、その現場で数字を拾うことは現実的に不可能に近い。以上のことから設計図面を保有している製造メーカーから物品を調達した方が、費用的にも、安全面を含めたトータルマネジメントの観点からも、I H I の純正部品を購入している。</p>